**生産現場改善支援事業成果発表会**

生産現場改善支援事業は、みやぎ産業振興機構のＨ３０年度事業として新たに設けられ、当ＮＰＯクラブが２社について支援委託を受けました。

その成果発表会が、各社において、宮城県経済商工観光部中小企業支援室に対して行われました。

・２月２１日、イケダ工機㈱　：品質不具合の低減、組立ラインの少人化、部品の配膳作業の改善の項目について、目標値をクリアできたことが報告された。

・２月２５日、㈱マトロ：設計出図日程の順守、設計ミスの撲滅という目標について、当初の計画を満足させる結果を得られたので、この方法を継続する必要性を感じていることが報告された。

＜支援事業の概要＞

１．対象と目標

・イケダ工機㈱：品質改善、少人化活動

・㈱マトロ：設計出図日程の順守、設計変更数の減少

２．支援体制

それぞれの企業に対し、ＮＰＯクラブから２名、みやぎ産業振興機構から１名の専門家を派遣し、業務改善の支援を行う。

・イケダ工機㈱：手塚昴宏（カヤバ出身）、青木伊佐緒（住友重機械工業出身）、渡邉芳広（みやぎ産業振興機構）

・㈱マトロ：甲斐実（東芝出身）、森本五百樹（東芝出身）、渡邉芳広（みやぎ産業振興機構）

３．支援期間

　平成３０年６月～平成３１年２月

４．ＮＰＯクラブの支援実績

　各社の改善目標に合わせ、以下の支援を行った。

　・イケダ工機㈱：原則毎月１回１泊２日で企業訪問を行い、作業改善のアドバイスを行った。訪問日数延べ２４人日。

・㈱マトロ：原則毎月１回企業訪問を行い、業務分析を基に改善案の策定を行った。延べ１２人日の訪問とＮＰＯ内部検討会を組み合わせた。

　成果発表会において、両社の社長から支援にあたった専門家に、成果を出せたことへの感謝が表明された。

以上

**＜イケダ工機㈱＞**



**発表会の模様 現場視察**

**＜株式会社マトロ＞**

****

**発表会の模様 ロボットの視察**